

令和7年度 医師の負担軽減及び処遇改善計画

中部徳洲会病院では、医師の負担軽減及び処遇改善のため下記の項目について継続的に取り組んでいます。

I. 医師の負担軽減及び処遇改善に関する体制

- (1) 責任者：事務部長
- (2) 医師の勤務状況の把握
 - ①勤務時間の具体的な把握方法
 - ・タイムカード、ICカード
 - ・出席簿又は管理簿等の用紙による記録（上司等による客観的な確認あり）
 - ②勤務時間以外の勤務状況の把握
 - ・年次有給休暇取得率、育児休業・介護休業の取得率
 - ③その他
 - ・業務の量や内容を把握した上で特定の個人に業務負担が集中しないう配慮した勤務体系の策定と職員への周知
- (3) 他職種からなる役割分担のための会議
医師負担軽減委員会、4回/年、参加人数平均20人/回
- (4) 医師の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画
計画の策定及び見直しと職員への周知

II. 医師の負担軽減及び処遇改善に資する計画の具体的な取り組み内容

- (1) 医師と他職種における役割分担
- (2) 勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施
- (3) 予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮
- (4) 当直翌日の業務内容に対する配慮
- (5) 育児・介護休業の規定による措置を活用した短時間正規雇用医師の活用

III. 医師の負担軽減のための業務分担計画（タスクシフト）

項目		目標	計画（具体的な取り組み）
業務 分 担	医局	医師による手術・検査に関する、 患者様及びご家族への説明についての取り組み	当院では原則、就業時間内に手術の説明を行うことに取り組む
	看護部	入院時説明の実施	入院サポートセンターと外来の連携
		静脈採血業務と検体採取の実施（注射静脈路確保含む）	①各部署での採血と中央採血業務の応援継続 ②注射、採血、静脈路の確保等
		初診時の予診の実施	外来におけるAI問診の普及・促進を図り医師の負担軽減に繋げる （未実施の診療科への拡充：小児科、整形、脳外、眼科、皮膚科、耳鼻科）
		検査手順の説明の実施及び検査の介助	①検査説明センター項目拡大（現在11項目の検査に対して実施中。 今後、心筋シンチや大腸検査の自宅前処置の患者への説明要望有り） ②血管造影・画像下治療(IVR)の介助
		特定行為研修修了看護師の活用	特定行為研修修了看護師の活動計画の実施 ①ろう孔管理関連特定による胃瘻・膀胱瘻交換の実施（瘻孔外来の継続） ②PICCカテーテルの挿入・管理・抜去の実施 ③術中麻酔管理領域：麻酔科医師の補助 ④術後疼痛管理（周術期チーム） ⑤感染に係る薬剤投与関連
		認定看護師（癌性疼痛・緩和ケア）の活用	緩和ケアチームによる患者サポートの実施
		入退院業務のサポート体制の強化	①入退院支援システムの導入 ②病床管理部門の立ち上げ
		救急救命士による他施設への転院搬送業務	①病院救急車による患者搬送の際の患者観察、及び救命士のみでの搬送対応 ②救急外来ウォークイン受診患者に対するプレトリージの実施
		救急・病棟における処置等の介助	①事前に取り決めたプロトコール(※)に基づく薬剤の投与、採血・検査の実施 ②救急外来における医師の事前の指示や事前に取り決めたプロトコールに基づく採血・検査の実施 ③カテーテルの留置、抜去等の各種処置行為

業務分担	薬剤部	服薬指導（薬局）	薬剤師による服薬指導の継続
		薬物治療管理とフォーミュラリ（使用ガイド付医薬品集）に基づく処方薬選択と処方発行に関する業務の実施	①周術期管理担当薬剤師を配置し、術前面談での周術期患者教育、手術予定患者の術前中止薬の確認と中止指示の支援、および術後、中止薬の再開確認および再開指示の支援、周術期の副作用を含む有害事象の確認、術後疼痛管理の支援を行う ②手術室常駐薬剤師を配置し、プロトコールに基づいた全身麻酔手術患者の麻薬・筋弛緩薬の処方オーダー代行入力、および鎮痛薬等の調製業務、手術室医薬品の管理業務を行う ③E R 常駐薬剤師を配置し、救急外来での薬物療法サポート、処方支援を行う ④外来化学療法センター常駐薬剤師を配置し、外来化学療法における薬物療法に関わる説明や、副作用軽減のための対応、患者の相談に応じ、必要な薬学的知見に基づく指導を行う ⑤透析室常駐薬剤師を配置し、透析患者の服薬指導、処方支援を行う ⑥上記の①～⑤を含め、薬物療法の決定に必要な検査オーダー指示の代行を行う ⑦入院時の持参薬の確認とともに、ポリファーマシーのおそれのある患者に対しては処方の内容を総合的に評価 ⑧服薬指導業務を含め、病棟における薬学的管理（薬物療法の有効性、安全性、経済性のモニタリング等）を行う ⑨服薬指導業務を含め、薬物療法に関する説明等を代行して行う ⑩ 医師への処方提案ならびに、上記①～⑤を含めた処方支援 ⑪整形病棟担当薬剤師による骨粗鬆症リエゾンのフォロー ⑫糖尿病患者の自己注射や自己血糖測定等の実技指導、その他製剤の患者教育
	臨床工学部	麻酔補助業務・清潔野補助業務の実施	①麻酔補助の強化（告示研修終了後） ②カテーテル関連の清潔野業務 ③心臓・血管カテーテル検査・治療時に使用する生命維持管理装置の操作と運転条件と監視条件の設定と変更を行う。 ④人工呼吸器を操作し、運転条件と監視条件の設定変更を行う。 ⑤人工心肺を施行中の患者の血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更を行う。 ⑥血液浄化装置を操作して行う血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更を行う。 ⑦各種手術等において術者に器材や医療材料を手渡す行為 ⑧生命維持管理装置を装着中の患者の移送 ⑨症例件数の取りまとめ
		臨床検査技師	①心臓・血管カテーテル検査、治療において医師の指示の下、直接侵襲を伴わない検査装置の操作を行う。 ②負荷心電図検査等における生体情報モニターのバイタルサインの確認・範囲内の場合の検査の実施 ③血液細胞(幹細胞等)・胚細胞に関する操作を行う ④細胞診や超音波検査等の検査所見の記載を行う ⑤病理診断における手術検体等の切り出しを行う ⑥病理解剖の一部補助を行う
	放射線部	医師との連携の強化	①医師の学会発表用やカンファレンス用の画像CD作成 ②年度別・診療科別での学会報告用統計業務 ③検査画像に異常所見が疑われた場合、医師に報告 ④造影剤注入装置の静脈路への接続、操作を行う ⑤RI検査における放射性医薬品の静注、抜針を行う ⑥術前の血管造影の定型的手技や放射線被曝についての説明を行う ⑦放射線検査等の検査の目的や必要性、具体的手技、放射線被曝、造影剤の副作用、安全性に関する説明、同意書の受領する ⑧放射線管理区域内での患者誘導を行う
		リハビリ	意見書等作成時に必要な身体計測業務をリハビリテーション室が代行することで、医師の診察時間等の確保、業務負担の軽減を図る。
	栄養室	栄養指導・栄養管理によるサポート	①必要な栄養管理を提案し、医師の栄養管理面での負担を軽減する。
	連携室	紹介センターの活用	かかりつけ医の紹介・受診調整を行い、説明等の負担軽減を図る。
	相談室	関連施設との入院調整	①北谷病院への紹介入院件数の前年度より増加。 ②おきなわ徳洲苑への紹介入所件数の前年度より増加。 ③イーストテラスライカムへ紹介入所に繋げる。
	医師事務作業補助	外来補助業務の拡充 文書作成日数の短縮 症例登録の継続	①外来業務は予約患者などの把握/調整を行い円滑に外来が行えるよう努める。 ②病棟業務については、診療情報提供書・退院サマリ・退院指示などの退院支援業務を継続し、リハビリ回診などに介入しカルテ代行入力を行う。（診療録等の代行入力） ③事務業務に関しては、診断書、返書の代行作成の継続。また、診断書や返書などの作成期間の短縮に努める。（各種書類の記載） ④登録業務に関しては、疾患への理解を深め登録スキルの向上を目指す。 ⑤医師事務作業補助認定資格の取得。医師事務研修会など勉強会への参加し各々のスキル向上。 ⑥勤務医アンケートの実施